

【Jp】マウントアダプター FT1 について

別売のマウントアダプター FT1 は、F マウントの NIKKOR レンズを 1 マウントのレンズ交換式デジタルカメラ (Nikon 1) に取り付けるためのアダプターです。撮影画角は、35mm 判換算で約 2.7 倍の焦点距離に相当する画角になります。

• FT1、カメラ、およびレンズの説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。

オートフォーカス (AF) でピントを合わせる

Nikon 1 カメラで FT1 を使ってオートフォーカスでピントを合わせるには、AF-S レンズを装着してください。その他の F マウント用 NIKKOR レンズの場合は、オートフォーカスでピント合わせはできません。マニュアルフォーカスをお使いください。

• オートフォーカスで撮影する場合、フォーカスモードを [AF-S] に設定してください。その他のオートフォーカスモードは設定できません。


• [シングルポイント] 以外の AF エリアモードは選べません。常に画面中央の AF エリア内の被写体にピントが合います。

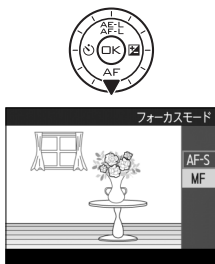
• [顔認識 AF] は行いません。


※ 撮影の状況により、ピントが合っていないでも電子音が鳴って AF エリアが緑色に点灯し、シャッターがきれることがあります。このような場合は、マニュアルフォーカスでピント合わせをしてください。

マニュアルフォーカス (MF) でピントを合わせる

1 MF (マニュアルフォーカス) を選ぶ

- Nikon 1 V1 の場合は、ロータリーマルチセレクターの ▼ (フォーカスモード) を押して、[MF] (マニュアルフォーカス) を選び、 ボタンを押すと、マニュアルフォーカスに切り替わります。

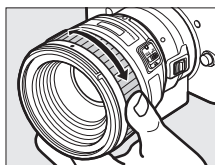



- Nikon 1 J1 の場合は、撮影メニュー [フォーカスモード] で [MF マニュアルフォーカス] を選び、 ボタンを押します (メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください)。

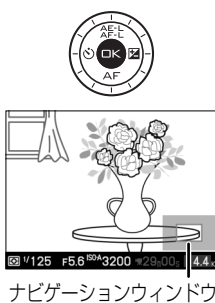
※ M/A (マニュアル優先オートフォーカス) モード機能付きのレンズをお使いの場合、カメラのフォーカスモードが [AF-S] のときに、シャッターボタンを半押ししたままレンズのフォーカスリングを手で回転させると、マニュアルフォーカスに切り替わります。オートフォーカス撮影に戻るには、カメラのシャッターボタンを半押しし直してください。



2 レンズのフォーカスリングを回して、ピントを合わせる

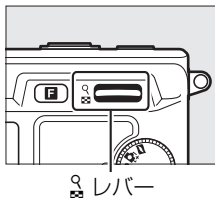
- 画面上のメインの被写体ははっきり見えるようにピントを合わせます。



-  ボタンを押すと、画面の中央部が拡大表示され、画面の右下に構図のどの部分を拡大しているかを表すナビゲーションウィンドウ (グレーの枠) が表示されます。



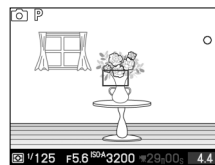
- 拡大表示中は、 レバーを上を押すごとに拡大率が上がり (最大約 10 倍)、下を押すごとに拡大率が下がります。
- 拡大表示中にロータリーマルチセレクターの ▲▼◀▶ で画面をスクロールさせて見たい部分に移動できます。
-  ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。



※ 動画撮影中または動画モードが [スローモーション] の場合は、拡大表示を行いません。

フォーカスエイドについて

CPU レンズ装着時にマニュアルフォーカスで撮影するときは、液晶モニターのピント表示 (●) でピントが合っているかどうかを確認できます。この場合、画面中央の AF エリアが、ピントが合っているかどうかの基準となります。



• ピントが合うと、ピント表示 (●) が表示されます。

ピント表示	意味
● (点灯)	被写体にピントが合っています。
▶ (点灯)	目的の被写体よりも手前にピントが合っています。
◀ (点灯)	目的の被写体よりも後方にピントが合っています。
▶ ◀ (点滅)	ピント合わせができません。

• オートフォーカスの苦手な被写体では、ピントが合っていないでもピント表示 (●) が点灯することがありますので、被写体にピントが合っていることを確認してください。

FT1 使用時の警告について

液晶モニター下部の絞り値表示部に表示される警告の意味は次の通りです。

表示	原因	対処方法
FEE	レンズの絞りリングが最小絞りになっていません。	絞りリングのある CPU レンズの場合、レンズの絞りリングを最小絞り (最も大きい値) にしてください。
F--	• レンズが装着されていません。 • 非 CPU レンズが装着されています。	非 CPU レンズを使用する際は、レンズの絞りリングで絞り値を設定してください。

FT1 使用時の制限について

- スマートフォトセレクターモードでは撮影できません。
- モーションスナップショットモードの場合、AF-S レンズ使用時にオートフォーカスでピントが合った場合にのみ撮影可能です。このとき、フォーカスリングには触れないでください。フォーカスリングが回転すると、警告メッセージが表示され、撮影できません。メッセージが消えた後、シャッターボタンを半押しし直してください。
- 1 秒以上の低速シャッタースピードには設定できません。
- レンズのフォーカス作動ボタン (フォーカスロック / メモリーリコール / AF 作動) と電子音スイッチは無効になります。

FT1 使用時のご注意

- 質量が 380g を超えるレンズをカメラに装着した状態で、カメラだけを持ちたり、カメラに取り付けたストラップだけを持ちたりしないでください。カメラのマウント部分が破損する恐れがありますので、必ずレンズを持ってください。
- 非 CPU レンズで絞りを絞って撮影する場合、画像上に線状のノイズが発生することがあります。
- 動画撮影中は、露出を合わせ続けます。レンズの動作音が気になる場合は、露出モードを **A** または **M** にして撮影してください。
- 連続撮影時は、ピントが最初の 1 コマと同じ条件に固定されます。
- [エレクトロニック (Hi)] 以外の連写では、連続撮影速度が遅くなります。
- [エレクトロニック (Hi)] での連続撮影時には、撮影時の表示が乱れることがありますが、撮影する画像には影響はありません。
- 使用するレンズや撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。また、AF 補助光は点灯しますが、レンズによるケラレのため使用できません。
- 開放絞りが F1.4 のレンズで、絞りを開いて撮影した場合、撮影条件によっては円ボケ (丸ボケ) の上下が欠けることがあります。